

S Y Dかわらばん

＜最新活動情報 No.180＞ 2023 年 12 月 21 日号

かわらばん特別企画「修養団と私」

昨年1月号よりスタートした「修養団と私」。各地で活動されている方々に特別寄稿いただいております。他の組織との交流のきっかけや運動推進の原動力として、大きな反響を呼んでいます。

修養団と私「修養団キャンプで得たもの」

修養団香川県連合会

副会長 多田 勲

私が初めて野外活動のキャンプを受講体験したのは1955年、19歳の夏、修養団の岡山県、香川県の両連合会合同夏期講習に引き続きおこなわれた修養団青年キャンプ講習でした。



岡山県と香川県の間の瀬戸内海にある本島で各地から参加した青年が遠藤俊夫青年部長、亀岡重則講師からキャンプの心得と実践を3日間にわたって詳細に受講しました。一つ一つがこれまでになかった驚きと新鮮なことばかりでした。修養団が日本で最初に天幕講習を開催したこと、創立者蓮沼門三先生の「愛と汗の精神」も学びました。海辺にテントを張り波の音を聴きながら眠る。献立を考え飯盒で食事をつくる。食前食後の感謝のことばを唱和する。使った食器を念入りに洗う。そして、朝起きて夜まで歌に始まり歌で終わる生活は新鮮で楽しかった。歌集もありました。キャンプファイヤーの出し物、いろいろなゲームは当時の青年にとってはじめての新鮮な学習でした。

その夏期講習の熱の冷めないうちと思い、近所の子どもたち20人ほどを森に集め、大きい農業用シートをテント代わりにして毛布、飯盒を持ち込んだキャンプをおこないました。食前食後の感謝のことばなど作法は講習で習ったとおりにしました。何年か後に大人になったその時のキャンパーは「あの時の楽しかった思い出は何ごとにも代えられない思い出だった」と語っていました。

それから新しい修養団少年少女キャンプが始まりました。本部から指導者を迎え香川県連合会と岡山県連合会が交互に受け持って毎年開催しました。修養団本部の指導者研修会などで、キャンプを開催している人たちとの交流ができました。



1973年2月「修養団全国代表者会議」
前から3列目左端が多田さん

国立音楽大学の岡本仁先生の合唱研修はまた画期的な歌の勉強になりました。おかげで私の地元と一緒に活動しているお母さんコーラスが四国代表として「第2回全国おかあさんコーラス大会」に出場できました。



フィンランドにて

1970年には修養団から推薦をいただいて、世界青年交流協会「日欧青少年交流海外派遣団」の北欧班に参加し、1か月にわたり外国の青年たちと交流ができたのは私の大きな宝物になりました。

こんな宝物をいただいたのは、これまで活動してきたことへのご褒美をいただいたと感謝しています。

今年の夏、久しぶりに修養団のキャンプに参加できて、新しい取り組みに頑張っておられる皆さんの活動を拝見し、心からのエールを送ります。

多田 勲さんへ《質問コーナー》

- ① 好きな言葉 → 「愛顔 愛語」
- ② 私のおすすめの本
→ 山本有三「心に太陽を持て」
- ③ 好きな食べ物 → 「讃岐うどん」
(自分で打って楽しんでいます)
- ④ 趣味 → 「山歩き」
(修養団の富士登山講習で長谷川恒夫先生の指導を受け山が好きになりました。66歳までに深田久弥選「日本百名山」のすべてを登拝しました)
- ⑤ 最近ハマっていること、または始めようとしていること
→ 「四国遍路」
- ⑥ 夢 → 「歌手になりたいかった」
- ⑦ 会員の皆様へ一言メッセージ
→ 「SYDで心とからだを鍛えて世界に羽ばたこう」

➡ ご感想やメッセージなどありましたら、ぜひSYD社会教育部までご連絡下さい。

主催事業・活動等

報 告

11/19…「WAKU×2ボランティアリーダー研修会」(鹿児島)12人〔鹿児島県日置市・伊集院地区公民館〕
《志村和也》



12月9日におこなわれる「子どもWAKU×2ひろば」に向け準備をおこなった。クリスマス会の飾りつけに使う折り紙作りやレクリエーションを学び、楽しく有意義な時間を過ごした。

12/2…第7回「『東京ベルズ』ハッピーヴォイスチャリティーコンサート」116人〔東京都渋谷区・SYDホール〕



「あなたがサンタクロース！」をテーマに、第7回チャリティーコンサートを、NPO法人「東京ベルズ」ご協力のもと実施。当日は昨年を大幅に超える来場者が訪れた。

クリスマスにちなんだメドレー曲や「夢で逢いたくて、もう一度」などのオリジナル曲、「ダニーボーイ」、「シング・シング・シング」など馴染みのある名曲などを披露。

今年は「さいたまシティジュニアコーラス」が賛助出演し素晴らしい歌声を披露したほか、東京ベルズとの合同演奏などで会場は大いに盛り上がった。



第1部の特別企画として、SYD青年部の山口千恵子部長と増田航介職員が、映像を使って「フィリピンのゴミ山で暮らす子どもたちの今」をテーマに活動報告をおこない、大学生の平松倫太郎さんが体験発表。その後、東京ベルズ出演者が各々「幸せの種まき献金箱」に一年間貯めた献金を、岩佐加寿子SYD幸せの種まき献金委員長に手渡した。



遠方等で来場が難しい方に対して、「心の参加者」と称して献金を呼びかけた結果、個人・団体で20件を超える多くの献金が寄せられた。

収益金は上記献金と合わせて「幸せの種まき献金」に入金され、ストリートチルドレンの支援などに活用される。

12/15…「青年ボランティアゼミナール」〔東京都・SYD会議室〕
《大学生・平松倫太郎》
※詳細次号

★「子どもWAKU×2ひろば」

11/18～19…瀬戸内海 19人〔香川県小豆島町・小豆島ふるさと村キャンプ場〕《板倉和也、林春幸》
参加した子どもたちは、キャンプ場に植生している小豆島名産のオリーブ摘みを体験。

夕食は協力をしながらうどんを手打ちしてカレーうどんを作った。



2日目は、島内にある道の駅「小豆島オリーブ公園」へバス移動しオリエンテーリングをした。

その後、会場に戻り昼食に流しそうめんを食べ、風は強かったものの天候に恵まれ寒さを感じずに楽しむことができた。

11/26…東京 31人〔東京都・SYDホール〕

《谷野渉、増田航介》



SYD東京のメンバーが「ハチャメチャ運動会」を実施。参加した子どもたちはボール運び、借り物競争、魚釣りゲームを応用したゴミ分

別ゲーム、ゴム鉄砲を使った射的のほか、大縄跳びや〇×クイズなどにチャレンジし、思い切り体を動かした。

12/2～3…北九州 33人〔福岡県北九州市・市立玄海青年の家〕

《板倉和也》



北九州ではまだ積雪はなかったものの、会場内の体育館で「室内雪合戦」などをおこない、子どもたちの歓声が響いた。また、段ボールで作られた大型のジグソーパズル作りにチャレンジした。夕食後のクイズ大会では子どもたちとリーダーが腕相撲で対決する内容もあり、楽しいひとときを過ごした。翌日の野外炊事では飯盒でごはんを炊いたほか、スープとホイル焼きを作り、寒空のもと冷えた体を温める食事となった。

12/9…鹿児島 32人〔鹿児島日置市・伊集院地区公民館〕

《志村和也》



4年ぶりに開催。修養団鹿児島県連合会の協力のもと、主に夏のキャンプに参加したリーダーたちを中心に企画・運営した。

当日はレクリエーション大会、クリスマスケーキ作り、プレゼント交換をし、リーダーたちからのサプライズで寸劇が披露された。

子どもからは「サンタさんはプレゼントをもらえないけれど、子どもたちから笑顔のプレゼントをもらえると思った」という感想があった。

12/10…沖縄 32人〔沖縄県糸満市・県立糸満青少年の家〕

《板倉和也》



天候に恵まれ、午前中は芝生の広場でレクリエーション大会をおこない、午後からは室内でクリスマス会をした。リーダーによるミニゲームのほか、SYDが支援するフィリピンの子どもたちに向けたクリスマスカードを作成。参加した子どもたちがサンタクロースとなって、心がこもったカードが仕上がった。プレゼント交換はくじ引きの方法でおこない、会場の全員がドキドキしながらプレゼントをもらった。



12/17…東京〔東京都・SYDホール〕

《板倉和也、市島寿里、増田航介》

※詳細次号

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

報 告

11/29 福岡県福岡市立千代中学校	27 人
12/ 8 長崎県佐世保市立光海中学校	77 人
12/15 千葉県柏市立柏第五中学校	237 人

予 定

1/15 埼玉県小川町立八和田小学校 P T A

伊勢青少年研修センター事業

12/5～8…第1224回「みがく講習会」29人

《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、斎田聖生、竹本英美》

東北、関東、中部各地方の企業から、また個人参加の方々が受講に訪れた。

20代から50代までバランスの取れた年齢構成で、お互いが学びあい、活気に満ち溢れた会となり、明るい雰囲気の中で4日間の研修を過ごすことができた。研修を終え、玄関前で受講者各々が決意を述べて出発するなど、各人の心に残る講習会となった。



12/9～10…「クリスマス会in伊勢」84人〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕
《武田数宏、山崎政弘、竹本英美》



今年のテーマは「みんなで作ろう！楽しいクリスマス会」。キャンドル作り、ピザ作り、ケーキ作り、ファッションショーなど、子どもたちやリーダー、スタッフ全員で協力しいろいろなものを作るプログラムを進めた。参加した子どもたちにとっては、大きなチャレンジの機会となった。

予 定

12/24～25…「子ども自然体験スキーキャンプリーダー研修会」〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいびあほか〕
《谷野渉、林春幸》

12/26～30…第1回「子ども自然体験スキーキャンプ」〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいびあほか〕《板倉和也、谷野渉、増田航介、林春幸》

1/16～19…第1225回「みがく講習会」《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、斎田聖生、竹本英美》

会員組織の主な動き

報 告

11/23…修養団山都愛汗の会「愛汗苑雪囲い作業」7人〔福島県喜多方市・愛汗苑〕



積雪に備え、蓮沼門三初代主幹の生誕地「愛汗苑」敷地内樹木の雪囲い作業を実施した。

《発信・佐藤美秋》

12/10…修養団宇部市連合会「第53回宇部市街頭美化清掃」400人〔山口県宇部市〕



年末恒例の修養団宇部市連合会主催による年末街頭美化清掃を実施し、多くの企業、市民団体、家族、学校のボランティア部などから参加があった。

今年は宇部市の篠崎圭二市長も清掃に参加され、閉会式でご挨拶をいただいた。

《発信・岡村精二》



12月1日には琴崎八幡宮の清掃奉仕も実施した。

《12月2日付
宇部日報記事》

<発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail : info@syd.or.jp
ホームページ : <https://syd.or.jp/>